

9月 12-18日

列王第一 11-12章

137番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「結婚相手を賢く選ぶ」（10分）

宝石を探し出す（10分）

王一 12:21-24 ソロモンの子レハベアムはエルサレムに着くと、直ちにユダ族全体とベニヤミン族の中から訓練された戦士18万人を集めた。王権を取り戻すため、イスラエルの民と戦おうとしたのである。22すると、眞の神に仕える人シェマヤに眞の神が言った。23「ソロモンの子であるユダの王レハベアム、ユダ族全体、ベニヤミン、そのほかの民にこう言いなさい。24『エホバはこう言っている。「行ってはならない。あなたたちの兄弟であるイスラエル人と戦ってはならない。おのれの自分の家に帰りなさい。このようなことが起こるようにならぬようにしたのは私だからである』』。彼らはエホバの言葉に従い、エホバから言われた通り、家に帰った。

レハベアム王が示した従順から何を学べるか。

（塔研 18.06 13-14）レハベアムの言葉を聞いて人々は反逆しました。レハベアムは彼らと戦うため、軍隊を召集します。しかしエホバは、預言者シェマヤを通してこう言われます。「あなた方は上つて行って、イスラエルの子らであるあなた方の兄弟たちと戦ってはならない。各自自分の家に帰れ。この事がもたらされたのは、わたしの求めによるからである」。（王一 12:21-24）*ソロモンが不忠実だったので、神は王国が分裂することを予告しておられました。（王一 11:31）

レハベアムは頭を抱えたことでしょう。「とげむちで」打ち懲らすと言ったばかりなのに、反逆者たちを野放しにしたら、面白は丸つぶれです。（歴代第二 13:7と比較。）それでも、王と軍隊は「エホバの言葉にしたがって帰って行」きました。何を学べるでしょうか。人からあざけられるとしても、神に従うのは賢明なことです。神に従うなら、神の恵みと祝福を得られます。（申 28:2）

レハベアムはどうだったでしょうか。神に従って北王国と戦うのをやめた後、自分の支配下にあるユダとベニヤミンの部族の領地に都市を建て、幾つかの都市を「大いに」強化しました。（代二 11:5-12）しばらくはエホバの律法にも従いました。ヤラベアムが治めるイスラエルの十部族王国が偶像崇拜を始めた時、その王国の多くの人々はエルサレムにやって来て眞の崇拜を支持し、「レハベアムを一層強くし」ました。（代二 11:16, 17）レハベアムがエホバに従ったので、王権は強化されました

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

（11:3, 4, 10）エホバからあれほど祝福を受けたソロモンが、エホバとの貴重な関係を失ったのは信じ難いこと。自分はエホバからの知恵があるので妻たちの考え方の影響を受けないと考えていたの

か？。この経験から、私たちを安心させながらも心を徐々に腐敗させるサタンのたくらみも垣間見ること可。それでサタンの世の考え方/やり方をきっぱりと退ける一方で、靈的な習慣を一層大切にしていきたいと思った。

聖書朗読（4分）王一 12:21-33（教励 第10課）

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）キャンペーン用の話し合いのサンプルに沿って話す。（教励 第3課）

再訪問（4分）最初の話し合いで始まった聖書レッスンの続きをを行う。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子のレッスン01を使う。（教励 第11課）

聖書研究（5分）暮 レッスン07 副見出し4（教励 第8課）

クリスチャンとして生活する

132番の歌

「結婚 生涯続くもの」（15分）討議。「結婚に備えるパート3:『費用を計算する』」の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分）暮 レッスン19 副見出し1-4

閉会の言葉（3分）

63番の歌と祈り

^ (王一 11:1-12:33) ソロモン王は、ファラオの娘のほかにも多くの外国人の女性を愛した。モアブ人、アンモン人、エドム人、シドン人、ヘト人の女性である。2彼女たちは、エホバがかつてイスラエル人に次のように言った国々の人だった。「あなたたちは彼らの中に入って*はならず、彼らがあなたたちの中に入ることもあってはならない。さもないと、彼らはあなたたちの心を彼らの神々に向けさせる」。それなのにソロモンは彼女たちを愛して離れなかった。3彼には、700人の妻つまり王妃と、300人の側室がいた。妻たちは彼の心を徐々に神から離れさせた*。4ソロモンが年老いた時に、妻たちはソロモンの心をほかの神々に向けさせた。ソロモンの心は、父ダビデの心とは違い、全てがエホバ神に向いているわけではなかった。5ソロモンは、シドン人の女神アシュトレテとアンモン人の極めて不快な神ミルコムに従った。6また、エホバから見て悪いことを行った。父ダビデとは違い、エホバに全く従ったわけではなかった。7ソロモンが、モアブの極めて不快な神ケモシュのため、またアンモン人の極めて不快な神モレクのために、エルサレムの前の山に高い場所を築いたのは、その頃だった。8自分たちの神々に犠牲の煙を立ち上らせたり犠牲を捧げたりしていた外国人の妻たち全てのために、同じように高い場所を築いた。9エホバはソロモンに対して憤った。彼の心がイスラエルの神エホバから離れたからだった。神が2度も彼に現れた上、10ほかの神々に従ってはな

神の言葉の宝

結婚相手を賢く選ぶ

ソロモンは愚かにも偽の神々を崇拜している女性たちと結婚した。 ([王一 11:1, 2。塔研 18.07 18 ページ 7 節](#))

ソロモンの妻たちは、ソロモンの心を徐々にエホバから引き離していった。 ([王一 11:3-6。塔研 19.01 15 ページ 6 節](#))

エホバはソロモンに対して憤った。 ([王一 11:9, 10。塔研 18.07 19 ページ 9 節](#))



神の言葉は、独身のクリスチャンに「**主に従う人とだけ**」結婚するようアドバイスしている。 ([コリ一 7:39](#)) とはいっても、**バプテスマを受けている**というだけで、**結婚相手としてふさわしい**とは言えない。その人は、**エホバにベストを尽くして仕え続ける**よう助けてくれるだろうか。エホバを深く愛していることをこれまで示してきただろうか。結婚を決める前に、時間を取って相手をよく知ることは大切。

（王一 11:1, 2） ソロモン王は、ファラオの娘のほかにも多くの外国人の女性を愛した。モアブ人、アンモン人、エドム人、シドン人、ヘト人の女性である。 2 彼女たちは、エホバがかつてイスラエル人に次のように言った国々の人だった。「あなたたちは彼らの中に入って*はならず、彼らがあなたたちの中に入ることもあってはならない。さもないと、彼らはあなたたちの心を彼らの神々に向かせること」。それなのにソロモンは彼女たちを愛して離れなかった。



クリスチャンとして生活する

結婚 生涯続くもの

幸せな結婚生活はエホバの誉れとなり、夫婦にとって喜びとなります。 ([マル 10:9](#) ですから、神が結び合わせた(*くびきでつないだ)ものを、人が離してはなりません) いつまでも幸せな結婚生活を送るためには、結婚相手を選ぶ時に聖書の原則にしつかり従うことが大切です。

「若さの盛りを過ぎ」るまでは、交際しないでください。性的な欲求が強い時期は判断が鈍りやすいからです。 ([コリー 7:36](#) ですが、未婚(*童貞/処女)の人が欲求を抑えられないと感じていて、若さの盛りを過ぎているなら、自分の望む通りにしなさい。罪を犯すことにはなりません。結婚しなさい) 独身の時期を、エホバとの絆を強め、[クリスチャンとして成長](#)するために活用してください。そうすることは、[将来の結婚生活を幸せなものとする上で大きな助け](#)になるでしょう。

結婚相手を決める前に、十分に時間を持って相手の「内面」を知るようにしてください。 ([ペテー 3:4](#) 自分の内面(*内面の人つまり心)を飾りとしましょう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります) 重大な問題に気付いたなら、そのことについて相手と話し合いましょう。他の人のとの関係でも言えることですが、自分が何をしてもらえるかよりも、相手のために何ができるかに目を向けることが大切です。 ([フィリ 2:3, 4](#) 対抗心を抱いたり、自己中心的になったり(*うぬぼれたり)してはなりません。謙遜になり(*自分を低く見て)、自分より他の人の方が上だと考えてください。 4 自分のことばかり考えずに、他の人のことにも気を配りましょう) 結婚する前から聖書の原則を当てはめているなら、幸せな結婚生活を送るための良い準備をしていることになるでしょう。

「[結婚に備えるパート3:『費用を計算する』](#)」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. 2人の交際は初め、どのように進展していきましたか。
2. 相手のことによく知るについて、姉妹はどんなことに気付きましたか。

3. 両親はどのように姉妹を助けましたか。姉妹はどんな賢い決定をしましたか。

交際中の兄弟が考慮できること:

姉妹はクリスチャンとしてどんな人か。王国を第一にしているか。聖書や組織の指示に敬意を払っているか。他の人のことをよく気遣っているか。

交際中の姉妹が考慮できること:

兄弟はクリスチャンとしてどんな人か。仕事やお金、スポーツや遊びよりも、崇拜や会衆での責任を優先しているか。家族にどのように接しているか。他の人のことをよく気遣っているか。

^ (マル 10:9) ですから、神が結び合わせた(*くびきでつないだ)ものを、人が離してはなりません」。

直訳、「くびきでつないだ」。

^ (コリー 7:36) ですが、未婚(*童貞/処女)の人が欲求を抑えられないと感じていて、若さの盛りを過ぎているなら、自分の望む通りにしなさい。罪を犯すことにはなりません。結婚しなさい。

または、「童貞」、「処女」。

^ (ペテー 3:4) 自分の内面(*内面の人つまり心)を飾りとしましょう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。

または、「内面の人つまり心」。